

東北大学病院 軽症病児・病後児保育室「星の子ルーム」利用案内

軽症病児及び病気の回復期で登園・登校できないお子さんを、家庭で世話をすることができない場合、看護師と保育士が家庭に準じた環境で看護・保育します。東北大学の教職員（准職員等含む）、学生（大学院生、研究生等含む）のお子さんが対象です。

設置場所	東北大学病院外来診療棟A	5階
定員	6名	
保育時間	月曜日～金曜日の7：30～18：00（祝祭日及び年末年始の休日を除く）	
保育料	1人あたり	2時間未満 1,000円
		2～4時間未満 2,000円
		4時間以上 3,000円
職員	看護師 2名、保育士 2名	

《手続きについて》

- ・当室は予約制です。事前に電話で予約して下さい。
- ・利用の際は事前に医療機関を受診し「かかりつけ医連絡票」を記入していただけてください。保護者が医師の場合は保険診療のもと「かかりつけ医連絡票」を記入することができます。また、かかりつけ医の受診が困難な場合は9：00から当院小児科外来で診察（事前診察）を受けることができます。その際には、利用当日のみ有効となる、病状連絡票が発行されます。詳しくは当室にご確認ください。
- ・入室の際には、かかりつけ医連絡票、利用申込書、こどもカルテ、児童登録票（初回のみ）が必要になります。書類は星の子ルームHPよりダウンロードすることもできます。
- ・利用をキャンセルする場合は当日の8：30までにご連絡ください。
- ・当日の予約は15：00までにご連絡ください。

《利用について》

- ・利用対象は、発熱等の症状があり集団生活が困難な体調不良の生後6ヶ月～小学4年のお子さんです。
- ・原則、体温が38.9℃以下のお子さんを受け入れます。ただし、以下の症状が見られる場合は受け入れできません。
 - ① 活気・食欲がない
 - ② 嘔吐の症状がみられる
 - ③ 水分を摂取できない
 - ④ その他、隔離の必要な疾患及び感染性の高い病原体による疾患の急性期※保育中に症状が悪化した場合は保護者の方にご連絡致します。症状によっては早めのお迎えをお願いすることもあります。
※隔離室がありませんので隔離が必要な疾患、またRSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎、嘔吐下痢症の急性期にはご利用できません。（当室は学校感染症の出席停止期間の基準に準じています）
※「かかりつけ医連絡票」の有効期間は処方期間及び次回受診日まで（最長でも7日間）となっております。
※インフルエンザ流行期間中は、発熱から16時間以降に実施したインフルエンザの検査が陰性の場合のみ入室可とさせていただきます。
※予約をお受けしても入室時の状態によってはお預かりできないこともあります。
- ・昼食、おやつを提供しております。アレルギー等がある際はご相談ください。
- 本室は東京海上火災保険株式会社の病児保育事業総合共済保険に加入しています。
- 個人情報を含む本室の情報は軽症病児・病後児保育に関する目的にのみ使用します。
- インフルエンザの検査では、陽性なのに陰性と判定される（偽陰性の）可能性があるため、施設内感染のリスクがあることをご理解のうえ、ご利用下さるようお願いいたします。

《ご持参いただくもの》

- ・必要書類：かかりつけ医連絡票（※）、利用申込書、こどもカルテ、児童登録票（初回のみ）
- ・処方薬：内服薬・坐薬など、お薬手帳または処方箋控え
- ・着替え、おむつ、おしり拭き、おむつ交換用敷きタオル
- ・粉ミルク（冷凍母乳可）、哺乳ビン
- ・利用料は退室の際にお支払いください。おつりのないようお願い致します。

お気軽に
ご相談ください。

※かかりつけ医連絡票の作成には料金が発生する場合があります。
料金は医療機関により異なりますので、かかりつけ医にお問い合わせください。

ご予約・お問い合わせ Tel、Fax 022-717-7819（7：15～18：00）
ホームページ <http://www.hosp.tohoku.ac.jp/hoshinoko-room.html>

